

1 学校教育目標

(1) 基本目標

**徳・知・体の調和のとれた、人間性豊かで、たくましい児童の育成
「かがやく瞳と あふれる笑顔の 宮小っ子」**

(2) 具体目標

- 夢・・・夢をもち、進んで学ぶ子供
- 人・・・人に学ぶ、心豊かな子供
- 里・・・里から育つ、たくましい子供

2 目指す学校の姿

『学校が大好き、友だちが大好き、先生が大好き』

- 子供たちがいきいきと活躍し、笑顔のあふれる学校
- 言葉を大切にする学校
- 共に学び合う姿のある学校
- 安心・安全・健康な学校

3 学校経営方針・経営の重点

チーム「一ノ宮」

全職員が、一ノ宮小学校の組織の一員として、誇りと責任をもち、支え合い、一体となって課題解決に取り組む。

①教職員一人一人の主体的・創造的な参画とチームワークを生かした学校経営を推進する。

- ・課題の明確化と共有、前例にとらわれない創意工夫した組織的な取組
- ・教職員一人一人のよさを活かし、補い合えるチームとしての取組
- ・報告、相談、連絡の徹底

②全職員で業務改善を推進する意識をもち、教職員の勤務の適正化に努める。

- ・働き方改革の意識を高め、在校時間管理を確実に実施
- ・会議や打合せ、資料作成等の徹底した効率化（真に必要なものに精選）
- ・施設や設備の整備・整頓・美化

③地域の「人・もの・こと」を生かし、地域に開かれた特色ある教育課程を編成し、実施、評価、改善を行う。

- ・9年間を見通し、一ノ宮地区や富岡、群馬の「人・もの・こと」を生かした、地域に開かれた教育課程の編成、実施、評価、改善
- ・教科担当制と学級担任制を生かした教科指導・生徒指導の充実
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育のさらなる充実（支援学級、通級指導教室〔言語・発達〕、協力学級の担当者間の連携強化）

**④「確かな学力、豊かな人間性、健やかな体」をバランスよく育み、「共に
によりよく生きる子供」を育成する。**

- ・子供の実態（よさ・課題）を踏まえた組織的・継続的な取組で、「確かな学力、豊かな人間性、健やかな体」をバランスよく育成
- ・教科等の見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びの充実による、知識・技能の確実な習得と活用する力の育成
- ・道徳科、外国語（外国語活動）、総合的な学習の時間の指導の充実
- ・新指導要領への移行に係る指導内容や計画の確認の徹底（社・算・外）

**⑤子供のよさや可能性を最大限伸ばし、子供が活躍できる学校づくりに
努める。**

- ・子供が前面に出て活躍する授業や行事、集会、委員会活動の一層の推進
- ・教師と子供との信頼関係に基づく、自己存在感・共感的人間関係・自己決定を意識した組織的で積極的な生徒指導の一層の推進

⑥校内研修等を通して、教師としての指導力や専門性を高める。

- ・「めあて」「主体的・対話的で深い学び」「まとめ」「振り返り」を明確にした組織的・継続的な実践による、教師一人一人の授業力の一層の向上
- ・道徳、外国語、プログラミング教育、メディア問題等に関わる研修の充実

**⑦教職員一人一人が安全・安心・健康についての危機管理意識をもち、
安全指導・安全対策・保健指導の徹底を図る。**

- ・教職員一人一人の危機管理意識を一層高めるとともに、通学路や学校施設の継続した安全点検の徹底と問題点への迅速な対応
- ・安全教育の充実による、危険予知能力、危機回避能力の育成
- ・保健教育の充実による、感染症や怪我等の予防への意識・態度の育成

**⑧保護者や地域、関係機関との連携・協働を深め、地域に信頼される学
校づくりに努める。**

- ・教育公務員として公務内外の服務規律確保に努める組織的な取組の推進
- ・学校の相談的機能（ＳＣ・特支コーディネーター等）を活用した保護者との連携強化
- ・義務教育のゴールの姿を共有した小中連携の推進（キャリア教育の推進）
- ・一ノ宮小学校のよさの発信と地域行事等への協力
- ・ＰＴＡ（市Ｐ連）、地域、域内の幼保こども園、区長会等関係団体・関係機関とのさらなる連携